

東北大学災害科学国際研究所
令和6年能登半島地震に関する速報会

2024年1月1日16時頃、令和6年能登半島地震（最大震度7、M7.6）およびそれに伴う津波が発生し、甚大な被害をもたらしました。東北大学災害科学国際研究所は、震災直後からこの地震・津波の調査・解析・可能な支援を進めており、これまで得られた知見に関する速報会を、下記のとおり公開で開催します。

日時： 2024年1月9日（火）13:00～15:30 ※最長16:00まで
会場： ハイブリッド形式（災害科学国際研究所棟多目的ホール + ZOOM）

プログラム

司会：栗山進一

開催挨拶（5分） 大野英男（東北大学総長）オンライン
趣旨説明（5分） 栗山進一（東北大学災害科学国際研究所所長）

1. 地震メカニズム解説と現地報告

- ① 地震発生場と余震活動、長期予測の問題点（20分）
遠田晋次
- ② 津波災害の即時解析と現地調査について（15分）
越村俊一、アドリアノブルーノ、マスエリック、永田彰平、越村俊一
- ③ 穴水町と七尾市の現地調査結果（建物・地盤関係）（15分）
柴山明寛、榎田竜太、森口周二、呉修一（富山県立大学）
- ④ 医療活動の実際（5分）
江川新一、佐々木宏之

2. 学際的情報提供及び連携・実践の報告

○理学・工学

- ① 今次津波の特性と被害状況（6分）
今村文彦、サッパシーアナワット
- ② SAR画像解析による地盤変動の特徴（6分）
福島洋
- ③ 地震動特性（6分）
大野晋

○医学

- ① 被災地の医療ニーズと災害医療対応（6分）
江川新一、佐々木宏之
- ② インクルーシブ防災と防災コミュニケーション（6分）
栗山進一

○人文社会科学

① 災害時の多様なニーズ（6分）

ゲルスタ ユリア

② 令和6年能登半島地震における即応的・継続的学校教育支援：学校教育関連情報の集約と発信（6分）

齋藤玲、小田隆史、桜井愛子、福島洋、佐藤健

③ 文化遺産防災マップから推定する文化遺産の被害状況（6分）

蝦名裕一、川内淳史

○防災実践と連携

① 国内外との連携（6分）

小野裕一

② 東北大学との連携、現地調査等について（6分）

藤原広行（防災科学技術研究所）

3. 東北大学より報告

東北大学の対応状況について オンライン（10分）

植木俊哉（東北大学理事）

4. 全体質疑 主に研究者、防災関係者、一般の方々

5. 質疑応答 報道機関の方々

※プログラム中、特に記載のない発表者は東北大学災害科学国際研究所所属

※演題名あるいはプログラムは変更の可能性があります。

【関連ウェブサイト】

東北大学災害科学国際研究所ホームページ

<https://irides.tohoku.ac.jp/>

令和6年能登半島地震 特設ページ

https://irides.tohoku.ac.jp/research/prompt_investigation/2024noto-eq.html

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 広報室

メール：koho-office@irides.tohoku.ac.jp

電話：022-752-2049

以上